

株式会社ポーラの取り組み

ポーラのサステナビリティ

「つながりであふれる社会を創る」

ポーラは2029年、100周年を迎えます。企業理念に「Science Art Love」を掲げ、時代と共に変化するお客さまや社会と共に、「美と健康」の可能性を追求してきました。

私たちが創業以来持ち続けているのは、自分の大切な人から世界中の人々に至るまでの「かけがえのない存在=Special Oneでありたい」という想いです。

そしてこれから私たちが目指すのは、「私と社会の可能性を信じられるつながりであふれる社会」。今よりも自分自身の可能性を信じ、人の、社会の可能性をも信じていくことができる未来。一人ひとりがもっと自分らしく社会とつながり、もっと生きることを楽しみ、豊かに、彩り溢れる瞬間を感じる未来を目指していきたいとポーラは考えます。

その実現に向けて、社会、経済、環境を軸にサステナブルな視点でテーマを設定し、事業活動を実践していきます。そして、ポーラの事業を支えるのは、人の力であることはいまでもありません。全国の3万名を超えるBD(ビューティーディレクター)や、世界中のBC(ビューティーコーディネーター)と共に、事業成長と持続可能な社会実現の両立を目指してまいります。

代表取締役社長 及川美紀(竹永美紀)



社会課題を解決するためのサステナビリティサイクル



【社会】 ジェンダー、年齢、地域格差、様々な「壁」の解消



ビジネスリーダー輩出

地域で活躍するビューティーディレクターの育成、教育システムの基盤となる成長指標「ポーラサクセスロード」では、従来、基本的に売上規模のみが指標とされてきましたが、現代の女性活躍、女性の在り方を考えたときに、スキルや経験の上に社会性や人間性を育み、より多くの人や社会に影響を与えていくことが、ビジネスにおける成長であると再定義しました。これをもとに教育カリキュラムも大幅に刷新しています。

【経済】 多様な人が、健康に、イキイキと活躍する機会の創出



経済

ポーラが注力するSDGs

- 3 すべての人に健康と福祉を
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう



両立支援制度の充実

女性のライフステージを支えるキャリア支援策の一環として、積極的に子育てとの両立支援に取り組んでいます。育児休業期間の延長、育児状況に合わせて選択できる短時間勤務制度や育児フレックス(小学校3年生末まで)など、多様な働き方に対応できる制度整備はもとより、育児休業後の職場復帰をスムーズにするために、管理職への両立支援制度説明や上長との復職前面談の実施、育児休業復帰者のためのキャリアデザイン研修など、子育てに関わりながらのキャリアパス形成にも目を向けた取り組みを行い、育児休業復帰率95.5%(2018年)と高い成果につながっています。

【環境】 未来に、次世代に環境をつなぐアクション



ショッピングバッグ削減へ

お客さまと共に環境負荷を低減していくため、ショッピングバッグの提供を原則廃止いたします。

国内ショップの一部ですでに進めていたマイバッグご持参の呼びかけを、国内全ショップ・百貨店コーナーに拡大。今後も環境に配慮した取り組みを進めてまいります。

ポーラ E.Kana ふじと台駅前店の取り組み

POLAマルシェ



POLAの店舗がある和歌山大学前駅で、マルシェを開催致しました。

「和歌山を元気に」をテーマに多くの事業者様から賛同頂き、

飲食店やハンドメイドショップなど28のブースを出展、

約750名のお客様にご来場頂きました。

普段出会うことの難しいお客様との出会いを創出することで、

和歌山の経済活性化、地域振興に貢献致しました。



和歌山市 × POLA 共同婚活パーティー

和歌山市で営業しているカフェとコラボし、
婚活パーティーを実施致しました。

定員を上回る応募を頂き、多くの方に出会いを
提供、和歌山市の活性化に貢献致しました。



ゴミ拾い活動



店舗近隣の地域で、定期的にゴミ拾いをしています。

日々お世話になっているお客様や周囲の方がより心地よく過ごせる環境を作りたい一心で始めました。

地道な活動ではありますが、店舗のメンバーや近隣店舗の皆様と一緒に行うことで、大きな成果につながると考えています。

